



志茂田中だより

<https://www.ota-school.ed.jp/shimoda-js/>

令和5年2月8日 発行 10号
大田区立志茂田中学校
大田区西六郷 1-4-10
電話 03-3732-9318
校長 青海 正

「利他の心で未来を拓く」

副校長 輪澤 由季子

暦の上では春を迎え、草木が芽吹く季節となりましたが、まだまだ寒い日が続いています。生徒の皆さんにとっては、進級・進学に向けて新しいステージへの準備の時期になります。特に3年生にとっては、進路決定の大切な時期となります。これまでの自分の努力を信じ、最後までベストを尽くしてほしいと思います。

さて、以前赴任した学校で出会ったある町工場の社長さんのお話を紹介したいと思います。この方は、学校設備等でいつも教育活動を支えて下さる方でした。社長さんの工場では新しく従業員となる方々に板金製作（金属をたたいて成型すること）の技術を教える際に、大切にしていることがあるそうです。それは、指導者と新入社員が実物（同一形状物）を見ながら「規格通りに作り上げるのではなく、規格プラス α （アルファ）の物を作るにはどうするべきか」を話し合うことだそうです。物づくりの専門家である社長さんが継承していたのは、プロとして作り手の思いを優先することではありませんでした。それは、限られた予算の中で安全性や利便性等でベストな製作物を作るだけでなく、プラス α としての「利他の心」（相手の気持ちを優先して考える心）こそが、物づくりには大切だということでした。この工場では、板金の際に何度も現場に行き、実際にそれを使う人のニーズを聞きながら、チームで情報共有して製作するそうです。

例えば、給食室では、「短時間・安全・清潔」をキーワードとして、調理に携わる方々に通年でお話をうかがい、板金を重ねながら製品の素材や形状を工夫するそうです。また、この「利他の心」での製品作りは、使う人のニーズにより近い物となり、ミスマッチを防ぎ、鉄という限りある資源を無駄にしないことにつながることも分かりました。工場内の製品製作過程で出る鉄スクラップは鉄鋼生産プロセスにかえり、新たな鉄製品へと生まれ変わります。さらに、関連の製鉄会社では製鋼過程の副産物の鋼鉄スラグが肥料として安定した農作物づくりに役立っていることも学びました。「働く」とは「利他の心」の輪を広げていくことだと社長さんは教えて下さいました。ある工場での「利他の心」で物づくりをする取組が、他の工場へと広がりながら鋼鉄関連会社の「鉄資源を無駄にしない」等の持続可能な取組になり、新たな鉄製品や豊かな農作物へと生まれ変わっていくことの大切さが分かりました。

今、学校では様々な教育活動を振り返り、令和5年度へ向けた学びの教育計画を作成しております。今後とも、予測不可能な未来社会を切り拓く子供たちの育成を目指すとともに、子供たちが習得した知識を活かすことのできる様々な体験活動を設定し、困難な課題に協働で多面的・総合的に取り組もうとする力の育成を図って参ります。

今年度も残り約2ヶ月となりました。地域や保護者の皆様におかれましては、引き続きご支援ご協力の程、お願い申し上げます。

SDGs …Sustainable Development Goals… 「持続可能な開発目標」

2015年に国連で採択された「2030年までの達成を目指す17の目標」

1 貧困 2 飢餓 3 保健 4 教育 5 ジェンダー 6 水・衛生 7 エネルギー 8 成長・雇用 9 イノベーション 10 不平等 11 都市 12 生産・消費 13 気候変動 14 海洋資源 15 陸上資源 16 平和 17 実施手段

「全国学校給食週間」の取組 栄養士 山本直美

1月24日から30日は、「全国学校給食週間」でした。

学校給食は、明治時代、山形県の小学校で昼食を持参できない子供たちのために、おにぎりと言物を用意したのが始まりとされています。

「全国学校給食週間」は、当時を振り返り食べ物に感謝し給食の意義や役割について理解や関心を深める週間となっています。この期間、志茂田中学校では、「ふるさと給食」として大田区と東京都ゆかりの食材や料理を提供しました。ふるさと給食が郷土の食文化への理解を深める一助となれば幸いです。



大田区発祥の揚げパン

「しもだや体験」1組 教諭 吉澤 陽子

先日、3年1組では志茂田福祉センターで販売している商品を販売する体験をさせていただきました。当日は地域集会室を仮の販売所とし、生徒たちで工夫を凝らしながら飾り付けしました。注文商品を間違えて梱包しないよう何度も確認したり、初めて接客作業をしたりと緊張の連続でしたが、やり遂げた達成感は大きく、とても充実した経験になりました。ご協力を頂きました方々に、感謝申し上げます。



しもだや体験の様子

「文化祭を終えて」 主任教諭 横川 崇

1月20日、21日に文化祭展示が行われました。生徒たちの作品が、会場である体育館に所狭しと集まった様子はなかなか圧巻でした。金曜日には各学年が1時間ずつ見学を行い、普段なかなか見る機会のないお互いの作品を見て刺激を受けている姿が見られました。また、今年は志茂田小学校の児童たちも見学を訪れており、中学生たちの作品を真剣に見ていました。3年ぶりに制限をかけずに行った展示。多くの保護者の方に来校していただきました。ありがとうございました。



文化祭展示発表作品



タブレットを活用した授業の様子

「志茂田中学校のICTについて」 ICT担当 主任教諭 清水 天音

一昨年度から、生徒一人1台のタブレット端末が本格的に導入され、授業をはじめとする様々な場面で活用が進んでいます。設備の充実とともに、問われるのは活用する側の情報リテラシーです。事実、本校では、タブレットが本格導入された初年度に、情報モラルに関わる生活指導が急増しました。また、システム更新や新しいアプリの導入に伴い、教員側がそれを活用しきれていない現実もあります。

しかし、そんな学校生活に対して、本校の生徒や教員はとても前向きです。12月に行われたタブレットルールに関するアンケートには、多くの生徒から意見が寄せられました。これを基に、3学期には、来年度に向けたルール改定に関する協議会を予定しています。また、タブレット活用に関する教員同士の学び合いや教え合いの場や、逆に生徒が教員に使い方を教える場面等が増えたことで、学校全体が活性化しています。

現在、学校は大きな変化の真っ只中にあります。そのような混乱が生じる場面においても前向きな挑戦の姿勢をもてるのは、保護者の方々にご理解いただいているおかげです。

先達て1月にお知らせした通り、本校では来年度から、配布物を原則ペーパーレス化する運びとなりました。引き続き、本校のICT運用にご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【2月・3月の主な行事】

2月

- 8日(水) 専門委員会
- 9日(木) 評議委員会
- 10日(金) 安全指導4時間(給食無し)
小6体験授業3・4カット
- 13日(月) 生徒朝会
- 15日(水) 職員会議
- 16日(木) 特支社会科見学
- 17日(金) 避難訓練(Jアラート)
- 24日(金) 学年末考査(数・社・保体)
PM第2回新入生保護者説明会
- 27日(月) 学年末考査(英・技家・音)
- 28日(火) 学年末考査(国・理・美)

3月

- 1日(水) 都立一次・分割前期合格発表
- 2日(木) 専門委員会2カット
- 3日(金) 3年 卒業遠足(足柄方面)
- 6日(月) 生命尊重週間(10日(金)迄)
評議委員会
- 7日(火) 1組 社会科見学(上野方面)
- 8日(水) 職員会議
- 9日(木) 避難訓練(津波)
- 10日(金) 2学年 薬物乱用防止教育
1・3学年 いのちの授業
- 15日(水) 卒業式予行 職員会議
- 17日(金) 第62回卒業式
- 22日(水) 1・2学年 学年末保護者会
- 23日(木) 1・2学年 美化活動 給食なし
- 24日(金) 1・2学年 修了式

お願いPTA お便りのデータ配信(スクリレ)への登録をお願い致します。
(お問い合わせ・・・志茂田中学校 PTA
shimoda.jhs.pta@gmail.com)